



患者さん 地域の皆さんとのコミュニケーション情報紙

とみ生済



写真 不整脈治療のカテーテルアブレーション手術

NO. **42**
2021
July

特集

循環器内科の診療案内
地域医療連携室の業務紹介



恩賜 財団 **済生会 水戸済生会総合病院**

〒311-4198 水戸市双葉台3丁目3番10
TEL:029-254-5151 FAX:029-254-0502

右のQRコードからアクセスし
当院のホームページを
ご覧いただけます。



困難な時代に求められる地域医療連携の充実

水戸済生会総合病院
副院長 仁平 武



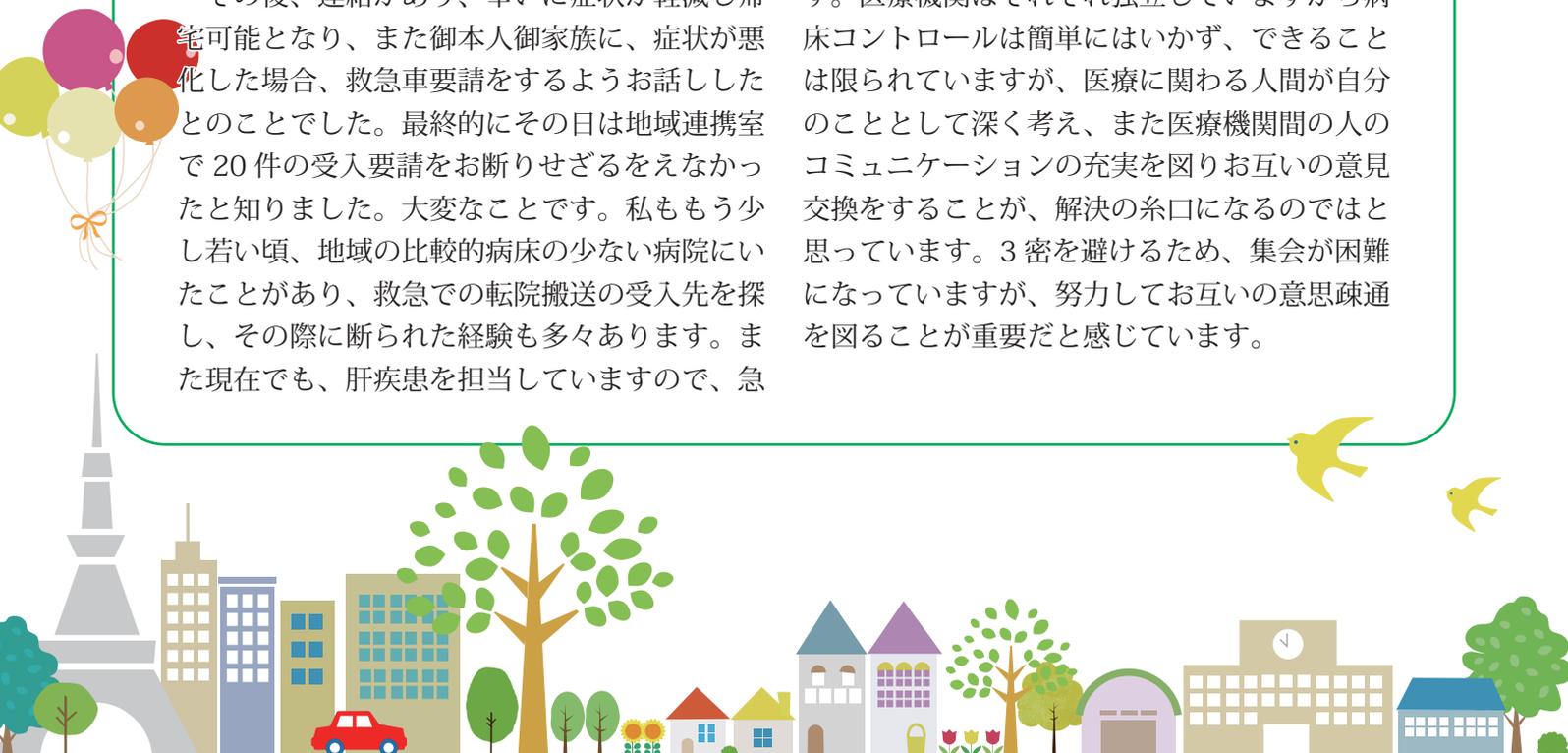
この1年半余、全世界が新型コロナウイルス感染に揺れ続けています。すべての分野で影響を受けていますが、特に我々のいる医療現場で顕著です。

今思い起こせば、2021年1月14日は大変な日でした。かつて体験しなかった苦い思い出としてしっかりと記憶に残っています。その日16時ごろ私の電話が鳴りました。出張で車に乗っていたため路肩に止めて受けました。医院からの患者受入要請でした。高齢患者で、吐き気があり、腹痛もありぐったりしている状態との事でした。当院の地域連携室に連絡し、直ちに受入を指示しようと思いました。しかし、残念ながら受入のベッドがなく、その日は既に10件の受入要請を受諾することができなかつたと説明を受けました。これは、近年、まったく無かったことでした。すぐに医院に電話を入れ、深くお詫びをして電話を切りましたが、非常に申し訳ない気持ちになりましたし、その後のことも気にかかりました。

その後、連絡があり、幸いに症状が軽減し帰宅可能となり、また御本人御家族に、症状が悪化した場合、救急車要請をするようお話したとのことでした。最終的にその日は地域連携室で20件の受入要請をお断りせざるをえなかつたと知りました。大変なことです。私ももう少し若い頃、地域の比較的病床の少ない病院にいたことがあり、救急での転院搬送の受入先を探し、その際に断られた経験も多々あります。また現在でも、肝疾患を担当していますので、急

性肝不全の際に肝移植適応の患者であったときに、どこに紹介搬送するかを非常に悩みます。自分の施設で医療を完結できない患者を紹介搬送するときの、ましてや受け入れ先の決まらない場合の、現場の医師のストレスがどれほどのものであるのかは身にしみています。だからなおさらこの事態の深刻さを痛感しました。

この一日に起きた事態は、患者御本人の生命の危機はもちろんのことですが、これまで営々と築いてきた医療機関間の信頼の危機であり、ひいては地域住民と医療機関の信頼の危機であります。背景として、新型コロナウイルス感染が増加して第3波そして第4波にも及んでいること、病院が新型コロナウイルス感染対応のため一般病床を減らしていること等が挙げられます。特殊事情下の突発的事態かもしれませんが、このようなときこそ地域病床有効利用が必要で、地域医療連携が必要なのだと思います。医療機関はそれぞれ独立していますから病床コントロールは簡単にはいかず、できることは限られていますが、医療に関わる人間が自分のこととして深く考え、また医療機関間の人のコミュニケーションの充実を図りお互いの意見交換をすることが、解決の糸口になるのではと思っています。3密を避けるため、集会が困難になっていますが、努力してお互いの意思疎通を図ることが重要だと感じています。



令和3年4月 新任医師紹介

新年度から当院にて診療を担当しています。どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科



部長
佐藤 義久

消化器内科



医員
目時 佳恵

消化器内科



医員
根本 陽介

消化器内科



医員
渡部 主樹

腎臓内科



医員
武原 瑠那

腎臓内科



医員
大場 憲正

小児科



部長
貴達 俊徳

外科



部長
池口 文香

外科



医員
永井 志歩

整形外科



部長
鈴木 真純

形成外科



医員
小泉 恵

脳神経外科



医員
佐藤 義泰

心臓血管外科



部長
上西 祐一朗

皮膚科



主任部長
田中 亮多

泌尿器科



部長
鈴木 秀平

産婦人科



部長
鈴木 あすか

産婦人科



部長
関 ももこ

産婦人科



部長
宮本 和恵

産婦人科



医員
伊東 菜摘

眼科



医員
林 明弘

麻酔科



医員
久保 瑠依志

歯科口腔外科



医員
井上 裕

救急科



医員
高瀬 士龍

研修医



医員
佐藤 さくら

研修医



医員
竹内 恵理

研修医



医員
高須 美香

研修医



医員
金 英吾

研修医



医員
大久保 貴裕

研修医



医員
武田 佳菜

研修医



医員
梶 博品

研修医



医員
木下 陽介

研修医



医員
佐久間 大樹

研修医



医員
横須賀 由季



増え続ける循環器疾患に高度な技術・新しい治療法で対応



各専門分野のスペシャリストが揃う循環器内科医師チーム

診療部長 循環器内科主任部長 大平 晃司



青沼和隆 最高技術顧問と
筆者（左奥）マスクを外して撮影



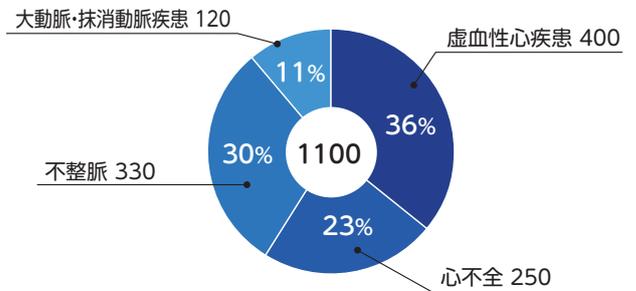
はじめに

●当科の概要

水戸市の人口は約 27 万人で、その周辺の市町村を含めると約 40 万人が当科の医療圏人口となります。当科はこの地域医療の拠点病院として、救急医療や診療所の先生からの紹介にてさまざまな循環器疾患の患者さんを受け入れております。昨年度はコロナの影響で少なかったのですが、通常の年であれば年間約 1100 名の入院患者さんを診ており、その内訳も虚血性心疾患が約 400 名、心不全が約 250 名、不整脈が約 330 名、大動脈、末梢動脈疾患が約 120 名と比較的バランス良く対応していると思います。

近隣の多くの病院が虚血性心疾患のカテーテル治療を中心に診療を行っているなかで、以前より当科ではどんな患者さんが来られても対応できるように不整脈や弁膜症のカテーテル治療など裾野を広げてきました。実際、当科は循環器研修施設、日本カテーテルインターベンション施設、不整脈専門施設、経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設などの学会認定施設になっておりますが、茨城県央地区において単一施設でこれらすべてを取得している病院は他にありません。

循環器内科の入院患者症例概況



当科の診療について

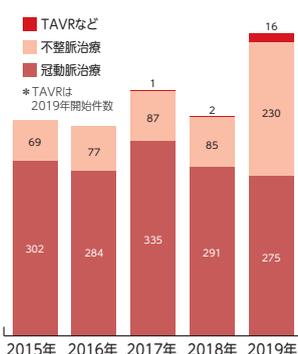
●虚血性心疾患のカテーテル治療

虚血性心疾患に対するカテーテル治療は薬剤溶出性ステントの登場や高コレステロール血症に対するスタチンという薬剤の普及により全体的に減ってきたと思われませんが、その中で当科の冠動脈形成術の件数は年間 300 程度とそれほど減少せずに行っております。石灰化病変に対するロータブレイター、エキシマレーザーや慢性閉塞性病変に対しての治療など難易度の高い治療を取り入れております。

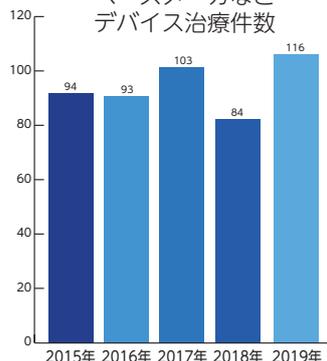


写真のハイブリッドカテーテル室をはじめ 3 つのカテーテル治療室を整備

カテーテル治療件数



ペースメーカーなど
デバイス治療件数

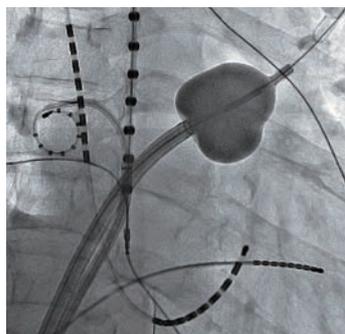


●不整脈の治療

治療は大きく3つあり、1つ目は薬物治療。2つ目はカテーテル治療。3つ目はペースメーカーや植込み型除細動器などのデバイス治療です。

カテーテルによるアブレーションは、高周波により発生する熱により不整脈の起きている部位（起源）や通り道（伝導路）を焼灼してしまう治療です。何を標的とするかは、その疾患によって変わってきますが、適応となる疾患は幅広く、心房細動、房室結節性リエントリー頻拍やWPW症候群などの発作性上室性頻拍、心房頻拍、心室性期外収縮、心室頻拍などであり、症例によっては根治させることができます。このなかで最近では心房細動に対するカテーテル治療が増えてきております。心房細動のメカニズムはまだ十分に解明されておりませんが、初期の段階では肺静脈から左房に異常電流が入りこみ、それにより心房細動が引き起こされることが判りました。そのためカテーテルからの熱で肺静脈と左房を焼灼することで電気を通さなくする治療（電氣的隔離）を行います。さらに病気が進行していれば、この左房-肺静脈の電氣的隔離に加え、左房や右房内の心房細動の起こりやすい部位に対する焼灼術を追加しております。

また最近ではホットバルーンによる焼灼術も行っております。これは水の入った風船を想像して頂きたいのですが、人それぞれ肺静脈の径や形態は違うものの、これを肺静脈のなかに押し込むと、その形に合わせてフィットしてくれます。そこで中の水を一気に高周波で熱して隔離を作成します。



ホットバルーンによる左房-肺静脈間の電氣的隔離術

2019年に筑波大学循環器内科の青沼和隆教授を最高技術顧問としてお招きしてからは、カテーテル治療の症例数も顕著に増加し、また心室頻拍などの難易度の高い症例の治療も増えつつあります。



リードレス ペースメーカー

また、ペースメーカー治療として最近リードレスペースメーカーを導入しております。今までのペースメーカーは前胸部にgenerator（電池）を留置、そこから鎖骨下静脈を介して心臓にリード（電線）を挿入し刺激を行うものですが、このリードレスペースメーカーは非常に小さく、直接心臓に留置して刺激を行います。そのた



カテーテルによる不整脈治療（写真はアブレーション手術）

め見た目には勿論、御自身ですらペースメーカーが入っているのか判らないくらいです。感染のリスクも従来に比べると非常に少なく、入院期間も2～3日程度です。しかし、その適応に関しては医師とよく相談する必要があります。

その他、心房細動は心不全、脳塞栓を起こす問題点があります。心房細動の一番の治療は薬剤および前述したカテーテル治療により洞調律を維持することですが、すでに心房細動の罹患期間が長い、あるいは器質的心疾患がある患者さんでは洞調律化は難しく、脳塞栓を予防する薬剤が必要になります。従来のワーファリンかDOACという新しい抗凝固治療薬が使用されますが、出血性合併症のリスクも残ります。心房細動の塞栓が左房の左心耳という大きいくぼみで生じやすく、カテーテル的にwatchmanというデバイスで左心耳を閉鎖してしまう治療も当院では開始しております。

●弁膜症のカテーテル治療

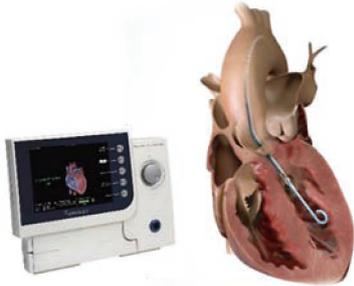
2019年12月より大動脈弁狭窄症に対してのカテーテル的人工弁留置術（TAVR）を県央地区ではじめて開始して、本年4月末時点で51名の患者さんが治療を受けております。開心術に比べると体への負担も少なく、今までは御高齢や持病があり手術リスクが高く開心術が難しかった患者さんにとって非常に効果的です。



ハートチームによるTAVR施術

●インペラの導入

大動脈バルーンポンピングや、最近コロナの治療で ECMO という装置名を耳にすることがあるかと思いますが、インペラもその補助循環装置の一つです。薬物療法抵抗性の重症の急性心筋梗塞、不整脈、心筋炎などによる急性心不全に対して使用し、左室から直接一定の血液を脱血し、これを上行大動脈に送血することによって、低下した左室機能の負担を減らす治療です。当院ではこの3つの補助循環装置（バルーンポンピング、ECMO、インペラ）をいつでも稼働できる状態にしてあり、どんな患者さんが搬送されてきても、患者さんの病態を見て、どの補助循環装置を使用するかあるいは併用するかをすぐに判断し対応しております。急性期疾患を担う病院として、無くてはならない治療かと思えます。



インペラ（補助循環用ポンプカテーテル）

●リハビリテーション

急性期治療においては救命が一番大事ではありますが、病態がある程度落ち着いた後は、いかに症状を取り除き、自信を持って社会復帰して頂くかが大事になります。そのため当科ではリハビリにも力を入れております。



早期社会復帰に重要な役割を果たす
心臓血管リハビリテーション



おわりに

当院では従来の治療に加え、このようにいろいろと新しい治療を導入しております。

以前から地域完結型の医療を目指しており、東京な

どの大都市まで行かなくても同じ専門的なレベルの高い医療をこの地域で提供できればと思っております。高度な医療を提供するにあたり、現在は循環器内科医師だけではなく心臓血管外科医師、麻酔科医師、臨床



工学技師、心エコー検査技師、放射線技師、看護師、リハビリ技師などさまざまな職種で

ハートチームを構成し対応しております。各スタッフがそれぞれの専門分野において高度な知識、技術を持ち、気持ち良く治療に参加してくれることがこの病院の一番の強みであり、これからも水戸済生会ハートチームが一丸となって、この地域の循環器疾患診療を支えていければと思っております。



様々な領域の専門スタッフが
ハートチームの一員として治療に参加



循環器内科の診療について、より詳しい内容を当院ホームページでご覧いただけます。

このQRコードからアクセスしていただくか、次のURLでご覧ください。

【QRコードとURLを配置】 <https://www.mito-saiseikai.jp/>



地域医療連携室は 患者さん、地域の医療機関と 当院との橋渡し役

地域医療連携室
齊藤 三奈



海老原至副院長兼地域医療支援部長と連携室のスタッフ。
副院長左が山本室長、同左が栗田水戸市医師会病棟秘書、
右端が筆者

地域の「かかりつけ医」と連携

「かかりつけ医」とは、ちょっとした風邪やけがなど、日常での健康管理をお任せできる身近な医師のことです。日頃の診察のほか、健康上の様々な問題について信頼して気軽に相談できる、皆様の健康維持に欠かせない存在です。

当院は地域に根ざした病院として、地域の「かかりつけ医」と密に連携をとり、患者さんにとって最良の医療をご提供できるようそれぞれの得意分野に応じて協力しあっております。

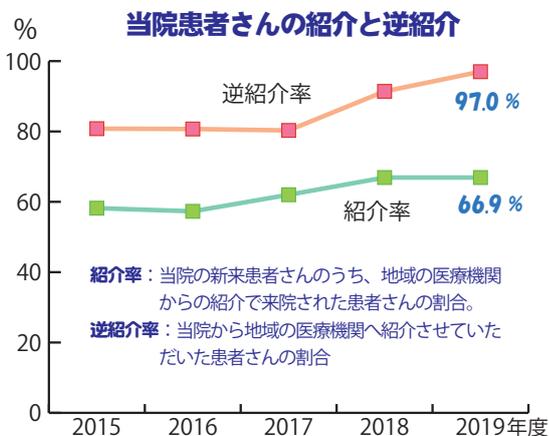
常時受け入れ可能な体制を整備

当院は急性期医療を担う病院です。「かかりつけ医」との信頼関係に立って、紹介患者さんの外来予約取得、緊急紹介、入院・転院の調整、セカンドオピニオンの予約など、病院・開業医の先生方からご依頼があった場合、迅速かつ丁寧な対応ができるよう心掛けております。「紹介患者さんは断らない」をモットーに、当院の各診療科の医師と協力し、受け入れ態勢を整え、地域の先生方や患者さんの立場に立ってきめ細かい連携を取れるよう努めております。

紹介された患者さんに適切な医療を提供した後は、相互信頼に基づいた医療連携により「かかりつけ医」の元に戻っていただきます。当院は、かかりつけ医機能を常に支援できる病院でありたいと考えております。

お気軽に連絡を

患者さんにとってより良い医療が提供できるよう、また紹介くださった先生方に信頼していただけるよう、先生方のご要望にお応えし、柔軟に対応させていただきます。お気軽にお電話ください。



医療機器共同利用

当院では、MRI,CT,RI,骨密度などの検査機器を地域に開放しております。(利用時に委託契約を結んでいただきます。)

検査の必要な患者さんをご紹介いただきましたら、画像(CD-R)、読影レポート(希望された場合)を撮影の翌日から3営業日以内に発送いたしますので、紹介元の先生より結果説明をお願いいたします。

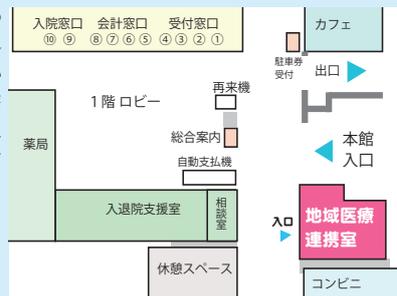


院内の各種機器は、患者さんに安心して検査を受けていただけるよう、徹底した感染防止対策を施しています。

地域医療連携室の受付時間

月曜日～金曜日(休院日除く) 8:30～17:00
電話 029-252-9067 (直通)
FAX 029-254-1637

* 上記以外の時間に受信したFAXについては、翌診療日の午前中にご連絡させていただきます。



外来診療スケジュール 令和3年7月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内科 受付 (8:30 ~ 11:30)	初診	5番		荷見 (腎臓)		佐藤 (腎臓)	
		6番	宗像 (消化器)	金野 (消化器)	大川原 (消化器)	佐藤 (消化器)	
		7番	長谷川 (循環器)	山田 (循環器)		樋口 (循環器)	藤沼 (循環器)
		15番	青木 (消化器)	海老原 (腎臓)	川原 (循環器)	千葉 (循環器)	今井 (消化器)
	再診	1番	柏村 (消化器)	仁平 (消化器)	今井 (消化器)	大川原 (消化器)	柏村 (消化器)
		2番	山田 (循環器)	長山 (血液) 再来のみ	午後 會澤 (循環器)	午前 石垣: (代謝内科) GDM (産科復券患者のみ)	長山 (血液) 再来のみ
		3番	午前: 土橋 (糖尿病・代謝内科) 第3午後: 堀米 (AChD 外来)	長谷川 (循環器)	金野 (消化器)	午前: 土橋 (糖尿病・代謝内科)	第2・4: 川原 (循環器) 第3午前: 川上 (糖尿病・代謝内科)
		4番	第1・3: 目時 (消化器) 第2・4: 根本 (消化器)	青木 (消化器)	仁平 (消化器)	宗像 (消化器)	萩原 (膠原病)
		5番		廣澤 (消化器)		黒澤 (腎臓)	
		6番					午前: 武田 (神経内科) 午後: 川松 (AChD 外来)
		8番	第2・4: 川原 (循環器)	住田 (膠原病)	第2・4午後: 渡辺 (消化器)	渡部 (消化器)	佐藤 (消化器)
		9番		午前: 土橋 (糖尿病・代謝内科)	午前: 土橋 (糖尿病・代謝内科)		大平 (循環器)
		10番	黒澤 (腎臓)	椎名 (腎臓)	海老原 (腎臓)	佐藤 (腎臓)	武原 (腎臓)
		11番	午後 腹膜透析外来 (再診)	午後 腹膜透析外来 (再診)	第1・3午前 村田 (循環器) 青沼 (不整脈外来) 第1・3は午後のみ	午後 青沼 (不整脈外来)	樋口 (循環器) (再診)
12番		大平 (循環器)	千葉 (循環器)	藤沼 (循環器)	青沼 (不整脈外来) 第2・4は午前のみ		
13番	第2・4午後 黒田	第1・3午後 伊東	午後 所	午後 坂本			
14番	午前 甘糟	午前 生越	午前 鴨志田	午前 楠			
外科 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前	高久 (第1,3,5)・春日	加藤・池口	丸山・金子	高久・東 高久・東	東	
	午後	予約制		乳腺外来 (医師判断)	第2・4禁煙外来		
心臓血管外科 呼吸器外科 受付 (8:30 ~ 11:30)	1診	倉持	倉岡	篠永		上西	
	特診					第2・4午後 筑波大学 呼吸器外科 教授 佐藤 幸夫	
小児科 受付 (8:30 ~ 11:30) 予約は慢性疾患のみ	午前	内谷	貴達	内谷	貴達	内谷	
	午後		(予約制) 健診受付 (14:00 ~ 14:30) 予防接種 (14:30 ~ 15:00)	内谷 (予約制)		内谷 (予約制)	
整形外科 受付 (8:30 ~ 11:00)	午前	1診 秋山 2診 細野 3診 野村	星 鈴木 生澤	島田 渡邊 野村	細野 星 秋山	渡邊 島田 生澤	
	午後	初診は紹介状持参の方、当院で入院・手術をされた方、1年以内に当院全科で受診歴のある方のみ。 専門外来 生澤 (関節外科)			野村 (脊椎外科)		
		午後は15:00 ~ 16:00まで。いずれの曜日にも予約制。					
形成外科 受付 (8:30 ~ 11:30) 午後 (15:00 ~ 16:00)	午前	初診 芳賀 再診 小泉	藤田 芳賀 (第4中山)	大島	藤田	芳賀 小泉	
	午後	手術	藤田 (再診のみ)	手術	手術	小泉	
脳神経外科 受付 (8:30 ~ 11:30)	午前	1診 塚田 2診 井口	森 芥川	芥川 井口	塚田 井口	森 山野	
皮膚科 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前	田中	田中		田中・小川	田中	
	午後	予約	予約		予約	予約	
泌尿器科	午前	1診 吉野 2診	宮永 福原	鈴木 福原	宮永 鈴木	宮永	
		受付 月・金曜日 (8:30 ~ 10:30) 火・水・木曜日 (8:30 ~ 11:00)					
産婦人科 受付 (8:30 ~ 11:00)	午前	初診予約外 産科 飯場・宮本 婦人科 中村・伊東	担当医師 佐々木 鈴木	担当医師 鈴木 飯場	担当医師 人見・関 山田	担当医師 中村 佐々木	
	午後	専門外来1 佐藤 専門外来2 婦人科 専門外来3 遺伝・NIPT 専門外来4 母乳・産褥外来	自己血貯血 関 自己血貯血 母乳・産褥外来	人見 婦人科 宮本 母乳・産褥外来	胎児 藤木 胎児 遺伝・NIPT	1ヶ月健診 1ヶ月健診 1ヶ月健診 母乳・産褥外来	
眼科 受付 (8:30 ~ 11:30)	午前	加畑	加畑 高木	田崎	加畑 高木	村上 高木	
耳鼻咽喉科	午前 (8:30 ~ 11:00) 午後 (14:00 ~ 15:30)	大谷	田中	武山	宮部	宮部	
ペインクリニック 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前	熊田	前田	大久保	大和田	奥山	
歯科口腔外科	午前 (8:30 ~ 11:00) 午後 (13:30 ~ 15:00)	武内・井上	武内・井上	武内・井上 井上	佐藤・井上 佐藤	武内・井上	
放射線科	放射線治療 予約制		橋本				
緩和ケア	14:00 ~ 16:00 (完全予約制)		吉村	吉村	吉村	吉村	
		(予約制) 予約は緩和ケア外来 → 病棟 電話 029-254-9165 (直通) まで					

- 最新の診療スケジュールは、当院ホームページにてご確認ください。
- 救急対応、緊急手術等により担当医師及び診療時間を予告なく変更する場合があります。